

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2021年6月30日発行  
第3号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

「ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこでイエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカによる福音書 10章 33～37節

イエスの言われる三人のうち、二人は追いはぎに襲われた人に近寄ることもなく立ち去りました。本校の大切にしている「隣り人を愛しなさい」という聖句を聞くとき、多くの生徒が、この善いサマリア人のお話を思うお話です。

さて、6月26日(土)の3・4限に、高校全学年でグローバル研究成果発表会が行われました。高1・3の2学年はホールで、高2は高校チャペルでライブ配信を視聴するという形で、3学年が揃った行事ができました。発表後の質問も続き、聞く側が主体的にとらえていると感じました。発表の内容は、社会的弱者など「いたみ」を感じるものにつながっている、聞きごたえのあるものばかりでした。

6月14日(月)から19日(土)の一週間は、平和を祈る週でした。最終日の特別礼拝は、本校の留学生の日本語講師を務めておられる、二口とみゑ先生から、「明子さんとピアノからのメッセージ」とのお話をいただきました。二口先生と河本明子さんのご家族とのつながりが、いつの間にか大きな人の輪となり、被爆ピアノというより「明子さんのピアノ」として、その存在意義があるものとなっていることを知りました。今年の夏は、平和公園を尋ねるとき、レストハウスで「明子さんのピアノ」を近くで見、感じたいと思います。

二口先生の歩みも、生徒たちの取り組みも、自分の時間を他のものにつながることに使いました。聖句の中のサマリア人が、「憐れに思い」動いた時も同じでしょう。慌ただしく流れる時間を、当たり前として何に使ってきたのか、何に使おうとしているのかを考えさせられました。

(校長)



## 平和を祈る週（6/14～6/19）

19日（土）の特別礼拝では、本校で留学生に日本語を教えておられる二口とみゑ先生から、被爆ピアノとその持ち主、河本明子さんについてお話いただきました。

二口先生は、たまたま近所に住んでいた明子さんのお母さんと親しくなり、引っ越された後、取り壊されることになった家に残された被爆ピアノのことを知り、譲り受けることになりました。

明子さんは戦前、アメリカで生まれ、6歳で広島に戻る時、ピアノを持ち帰りました。女学院専門学校（今の大学）3年生だった19歳の時、爆心地からおよそ1キロの場所で被爆しました。その後何とか自宅にたどりつきましたが、翌日両親のもとで息をひきとりました。



三滝の自宅にあったピアノは、原爆の爆風で側面に無数のガラスが突き刺さりました。60年の歳月を経て蘇った被爆ピアノは、平和を伝えるコンサートなどで使用され、昨年7月から平和公園のレストハウス内に展示されることになりました。ピアノと一緒に保管されていた21冊の日記には、小学校1年生から、亡くなる前年までの明子さんの歩みや思いが残されています。また明子さんのお父さんの日記に、克明に記された成長記録からは、どれほど慈しまれて育てられたかが伝わってきます。

最後に二口先生は、被爆ピアノの音を聞かせて下さり、「この音を聞いて、お友達とケンカしたくなりますか？ 優しい気持ちになるでしょう？ そういう気持ちが平和へとつながっていくのだと思います。」と語って下さいました。

週間中、中学では礼拝委員が放送で、河本明子さんの被爆ピアノによる曲を流しました。明子さんのピアノのことを知って感銘を受けた世界的に有名なアメリカのピアニスト、ピーター・ゼルキン氏が、明子さんが好きだったショパンの『ノクターン嬰へ長調 作品15-2』を弾いたものです。また8・6平和祈念式で河本明子さんを始め、被爆で亡くなった女学院の生徒・教職員350名の慰霊碑に捧げる千羽鶴を折りました。

高校では、昼のつどいでNHKのドキュメンタリー番組『Akiko's Piano ～被爆したピアノが奏でる和音(おと)～』を、視聴しました。



（宗教教育委員会）

### 保健室だより（3）

熱中症に注意が必要な季節になり、本校でも、暑い・むし暑い環境下で体調不良を起こす生徒が少しずつ出ています。この暑い・むし暑い環境下での活動中、あるいは活動後の体調不良は、すべて熱中症の可能性がります。

軽症では、めまい、立ちくらみ、大量の汗など、中等症では強い倦怠感に加え、ぼーっとする程度の意識の低下が見られます。重症になれば、明らかな意識障害、けいれん発作、呼吸困難で入院治療が必要です。一般的に軽症例が多く、保健室での安静と水分補給で帰宅、または授業へ復帰できる場合がほとんどですが、対処が遅れたり、一度に多数の発生となると、救急車を呼んで医療機関へ搬送する事態となります。

強い日差しで無風、暑さに慣れていない、朝食抜き、睡眠不足、そして何より水分の補給が乏しく脱水症の場合は、熱中症のリスクを高めま。マスク着用が日常生活様式となった今、熱中症と新型コロナウイルス感染症の両方を予防するためにも、早寝早起き、朝食摂取を心がけてください。学校では、「少しずつ」「こまめに」の水分補給を促していきます。

緊急事態宣言によるオンライン授業から、部活制限の40分授業、そしていつもの50分授業に戻りました。急な予定変更や見通しの立たない生活が続く、不安やイライラ、落ち着かないなどの心の不調をきたしているお子さまも少なくありません。何気ない会話や食事を通して、穏やかな時間をお過ごしください。



（保健室）

### 心の健康（3）

7月の学校生活は3つに分かれます。月初めの3分の1は期末テストですから、みんな勉強に励むこととなります。中の10日間はテスト返して悲喜こもごも。終わりの3分の1は夏休みで、各自の計画で日々を過ごすこととなります。状況に見合った子ども達への心配りが要る7月です。

テストでは自分の力が試されます。人は誰でも試されると強いストレスを受けます。ただ、テストによるストレスに対しては勉強しておけばいいわけで簡単なことです。が、勉強はそう楽々と出来るものではありません。子ども達は、「やらんといけん」と思い、「やろう」とし、「できん！」と投げ出し、「やっぱり、やろう」と思いを変えたり、心が微妙に揺れ動きます。こういう時の親の一言は、子どもにとってストレスになったり励ましになったりしやすいのです。

ほどよい時に、ほどよく声をかけて、親子でホッと一息入れる短い時間を持つゆとりを大人が作りたいものです。後半は夏休みです。

（カウンセラー）

### 教育実習について

6月1日から、6名が3週間、1名が2週間、本校で教育実習を行いました。実習前の自主隔離や体調観察、PCR検査の実施など、コロナウイルスの感染防止につとめ、とにかく何事もなく3週間が無事に済んだことに安堵しています。

実習生たちは、教師として生徒に接すること、教えることや学びの姿勢を引き出すことの難しさ、その準備の大変さに気付くことができたと思います。彼女たちの今後の活躍を期待します。

（教育実習係）

## 生徒の活躍

◇第74回広島県高等学校総合体育大会 新体操の部

**団体** 1位 広島女学院A →団体競技でのインターハイ出場権を獲得  
2位 広島女学院B

**個人総合（二部）** 1位 D. M（2-A）  
2位 N. A（2-A）

◇第62回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会（6月6日）

アナウンス部門優良賞O. S（3-B）→第68回NHK杯全国高校放送コンテストに出場

◇高校水泳部 6月26日（土）・27日（日）県選手権大会（兼県総体）福山市ローズアリーナ

**団体** 4×200mフリーリレー 8位入賞

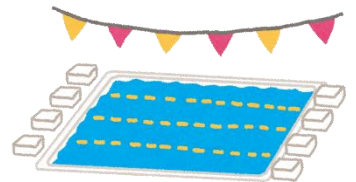
泳者（泳順）

3-B N. Y

1-A K. K

1-C N. K

3-E S. Y



## 教職員の動向

○聖書科の刀祢館先生のご義母様が5月23日にご逝去されました。

ご家族の上に神様の慰めがございますようお祈りいたします。

○2名の職員が退職されました。本当にありがとうございました。今後のご活躍をお祈りいたします。

《技術》問田 國雄（在職1年2か月） 寺西 尚子（在職2か月）

○新しい技術職員は次の方です。

《技術》松隈 みさ子





## 今月の聖句

彼らは剣を打ち直して鋤とし  
 槍を打ち直して鎌とする。  
 国は国に向かって剣を上げず  
 もはや戦うことを学ばない。

イザヤ書 2章 4節

2019年、アフガニスタンで銃弾に斃れた中村哲医師は、広島女学院と同じプロテスタントのキリスト教学校である西南学院でキリスト教に出会い、中学3年で洗礼を受け、『人助けをしたい』と医師を志すようになりました。

37歳の時、日本キリスト教海外医療協力会（女学院で古切手収集を通して支援しているNGO）からパキスタンへ派遣され、ハンセン病棟の責任者として働き、その後、隣国のアフガニスタンでの診療を開始。2000年にアフガニスタンで大干ばつ発生、100万人が餓死線上にあり、犠牲者の多くは子どもたちでした。医療だけでは命を救えないと、1600か所の井戸を掘ります。2001年、9.11米中核同時テロの犯人をかくまったとして、米軍などがアフガニスタンを攻撃。「武力でテロはなくなる」という信念のもと、2003年、用水路建設に着手、砂漠化していた土地を緑化し、約65万人の命と生活を支える1万6500ヘクタールの耕地を復活させます。

家族を食べさせるため兵士になっていた多くの人たちが、銃を捨て帰農しました。まさに聖書のことば、人を殺すための“剣と槍”に替えて、食べるための“鋤と鎌”を手にした人々の姿がそこにありました。

（高3聖書授業より 聖書科 T.M）

## 7月の行事予定表

1	木	
2	金	期末テスト(中3、高1・2・3) 中1・2 月曜授業 1限8:55~
3	土	(中1・2) 1限8:55~15分休憩
4	日	
5	月	1限8:55~15分休憩
6	火	1限8:55~15分休憩
7	水	テスト予備日(自宅学習日)
8	木	テスト返却
9	金	
10	土	高1・2・3進研記述模試
11	日	
12	月	1限8:55~40分休憩
13	火	金曜授業
14	水	[NC]
15	木	
16	金	火曜授業 大掃除
17	土	終業の日 3・4限終業礼拝 LHR 面接(7/17~7/30) 高3補習
18	日	
19	月	リーダープレキャンプ 勉強合宿(校内)
20	火	
21	水	
22	木	海の日
23	金	スポーツの日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

